

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細野 昭雄
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長 (氏名) 真田 秀樹
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 076-260-3377

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	21,743	24.0	884	—	856	—	924	—
25年6月期第2四半期	17,529	△11.6	△111	—	△128	—	△942	—

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 1,392百万円 (—%) 25年6月期第2四半期 △426百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	70.75	—
25年6月期第2四半期	△70.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	32,112	19,448	59.7
25年6月期	26,654	18,280	67.6

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 19,163百万円 25年6月期 18,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	17.3	1,500	140.0	1,500	181.2	1,400	—	105.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	14,839,349 株	25年6月期	14,839,349 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	2,039,266 株	25年6月期	1,604,352 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	13,069,458 株	25年6月期2Q	13,399,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の政策効果により円安・株高基調は定着し、企業収益の改善と消費に持ち直しの動きが見られました。

当社グループに関係するデジタル家電市場では、スマートフォンやタブレット端末関連が好調に推移している他、パソコン市場では平成26年4月のWindows XPのサポート終了を控えた更新需要に盛り上がりが見られました。

このような状況の下、当社グループは、設立以来38年に亘り使用してきたコーポレートロゴをリニューアルし、新生アイ・オー・データ機器として経営体質の変革を始動しました。パソコン環境の更新需要が追い風となる中、新たなデジタルライフやビジネスシーンを支える魅力的な商品・サービスの提案を加速し、取扱商品の拡充と販路拡大に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

利益面は、増収による影響に加え、取引条件の改善等の採算性を重視した事業展開が実を結び堅調に推移しました。前年同期との比較においては、前年同期では販売価格の下落と在庫調整にともなう採算悪化が重なり損失を計上していたことから、営業利益以下の各利益項目は大幅な増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は217億43百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益は8億84百万円（前年同期は1億11百万円の営業損失）、経常利益は8億56百万円（前年同期は1億28百万円の経常損失）となりました。また、当期の業績進捗を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました結果、当第2四半期連結累計期間において繰延税金資産を計上し、法人税等調整額の戻入2億27百万円を計上したことにより、四半期純利益は9億24百万円（前年同期は9億42百万円の四半期純損失）となりました。

[メモリ部門]

メモリ部門の売上高は15億44百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

メモリモジュールは、前年同期との対比において販売台数は横ばいながら、DRAM価格の上昇にともなう販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは、低価格帯商品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

[ストレージ部門]

主力のハードディスクの販売は、TVの販売不振による影響に加え、競争と距離を置く採算重視の事業展開を徹底したことにより前半伸び悩みましたが、年末商戦期に入り需要は急伸し、売上高は68億53百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

[液晶部門]

法人市場を中心としたパソコン環境の更新需要の盛り上がり際に際し、供給体制を整え積極的に案件獲得に取り組みました結果、液晶ディスプレイの売上高は前年同期を大幅に上回る48億34百万円（前年同期比97.5%増）となりました。

設置環境や利用シーンに最適な商品の提案を目指し、サイズや拡張性、特徴ある映像技術等からラインナップの充実を進める中で、法人モデル全般に目の疲れの原因とされる「ブルーライト」を低減する新機能の搭載を開始しました。

[周辺機器部門]

主に無線LANやNASを中心にしたネットワーク分野の伸長により、周辺機器部門の売上高は39億74百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

無線LAN関連では最新の超高速規格「11ac」の商品ラインナップを拡充するとともに、新規ユーザー層の獲得を狙い、環境移行や初期設定時の煩わしさを解消するツールを整備しました。NASでは法人向けに、常時稼働の運用面の課題とされる熱や振動への対策と電力の消費効率に優れた新モデルの展開を開始した他、各社クラウドストレージサービスとの連携強化を図りました。また、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできるネットワークカメラのシリーズ化を積極的に進めました。

マルチメディアおよびデジタル家電関連分野については、各種デバイスに対応した地デジチューナーの他、思い出の映像を記録したVHSや8mmビデオテープを手軽にデジタル化できるビデオキャプチャーの販売が底堅く推移しました。

[特注部門]

デジタル家電関連や通信事業者向け等へのOEM、特注品の販売を主とする当部門では、一部の大口案件が前連結会計年度末に一巡した影響から、売上高は12億10百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

[その他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売が好調に推移し、売上高は33億27百万円(前年同期比99.4%増)となりました。サムスン電子製SSD(フラッシュメモリを使用した記憶装置)の販売が伸長した他、平成25年4月より販売を開始したVerbatim®(バーベイタム)ブランドの光ディスクの販売が堅調に推移しました。また当第2四半期連結累計期間より、サムスン電子のスマートフォン「GALAXYシリーズ」のモバイルバッテリーやウェアラブル端末『GALAXY Gear』等の関連商品の取扱いを開始しました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて54億57百万円増加し、321億12百万円となりました。これは、商戦期の増収により受取手形及び売掛金が29億63百万円、需要の拡大に対応すべくたな卸資産が20億35百万円が増加しております。また、デリバティブ債権が5億36百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて42億90百万円増加し、126億63百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が10億47百万円、仕入債務等の決済資金としての短期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて11億67百万円増加し、194億48百万円となりました。これは、四半期純利益9億24百万円の計上と、繰延ヘッジ損益が2億57百万円増加したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて3億1百万円減少し、44億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は31億25百万円(前年同四半期は10億41百万円の獲得)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益8億55百万円の計上および仕入債務の増加9億6百万円による資金増加と、売上債権の増加28億32百万円、たな卸資産の増加20億34百万円による資金減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3百万円(前年同四半期は71百万円の使用)となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出99百万円、保証金の返還や保険配当金などのその他の資金増加97百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は27億67百万円(前年同四半期は10億72百万円の使用)となりました。これは、短期借入金による収入30億円と、自己株式の取得による支出2億18百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年1月27日付「平成26年6月期連結業績予想の修正および繰延税金資産の計上に関するお知らせ」において公表しました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,794	4,493
受取手形及び売掛金	7,890	10,854
商品及び製品	5,018	6,662
原材料及び貯蔵品	1,526	1,917
その他	1,633	2,447
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	20,851	26,360
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
その他(純額)	942	914
有形固定資産合計	3,823	3,795
無形固定資産	134	147
投資その他の資産	1,846	1,808
固定資産合計	5,803	5,751
資産合計	26,654	32,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,791	6,839
短期借入金	—	3,000
未払法人税等	132	140
ポイント引当金	20	7
賞与引当金	—	50
その他	1,857	2,038
流動負債合計	7,801	12,075
固定負債		
役員退職慰労引当金	110	110
リサイクル費用引当金	324	337
製品保証引当金	98	101
その他	38	38
固定負債合計	572	588
負債合計	8,373	12,663

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,228
利益剰余金	10,771	11,695
自己株式	△1,000	△1,219
株主資本合計	17,587	18,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	97
繰延ヘッジ損益	521	778
為替換算調整勘定	△136	△6
その他の包括利益累計額合計	432	870
少数株主持分	261	285
純資産合計	18,280	19,448
負債純資産合計	26,654	32,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	17,529	21,743
売上原価	14,773	17,897
売上総利益	2,756	3,845
販売費及び一般管理費	2,867	2,961
営業利益又は営業損失(△)	△111	884
営業外収益		
受取利息	5	6
仕入割引	35	42
持分法による投資利益	34	33
助成金収入	38	—
その他	21	58
営業外収益合計	134	140
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	79	115
売上割引	43	48
その他	28	3
営業外費用合計	152	168
経常利益又は経常損失(△)	△128	856
特別損失		
投資有価証券評価損	13	—
会員権評価損	2	0
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△143	855
法人税、住民税及び事業税	52	136
法人税等調整額	725	△227
法人税等合計	777	△90
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△921	946
少数株主利益	20	21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△942	924

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△921	946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	50
繰延ヘッジ損益	324	257
為替換算調整勘定	142	127
持分法適用会社に対する持分相当額	11	11
その他の包括利益合計	495	445
四半期包括利益	△426	1,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△454	1,362
少数株主に係る四半期包括利益	28	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△143	855
減価償却費	109	101
受取利息及び受取配当金	△8	△10
支払利息	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△792	△2,832
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,139	△2,034
仕入債務の増減額(△は減少)	612	906
その他	170	△11
小計	1,087	△3,024
利息及び配当金の受取額	6	20
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△52	△120
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,041	△3,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△68	△99
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△0	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	3,000
自己株式の取得による支出	—	△218
配当金の支払額	△66	△0
少数株主への配当金の支払額	△6	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,072	2,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13	△301
現金及び現金同等物の期首残高	5,119	4,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,106	4,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。